

日本プロサッカーリーグ(J2リーグ)キャンプ



日本プロサッカーリーグ(J2リーグ)で活躍するFC町田ゼルビア(東京都町田市)が1月16日～23日、大宮アルディージャ(埼玉県さいたま市)が1月25日～2月1日まで、うるま市具志川多摩目球技場にてキャンプを行いました。

また、両チームともキャンプ期間中に市内の少年サッカーチームとの交流を目的にサッカー教室を開催し、地域の子供たちと親睦を深めました。

1/26 うるま市から二人目のJリーガー誕生 プロサッカーチームFC琉球入団報告



FC琉球U-18(育成選手)からトップチームへ昇格(プロ契約)となった本市出身の津覇実樹選手(高江洲中:北中城高3年)が、市役所を訪れ入団報告を行いました。

中村市長は「トップリーグ、そして海外で活躍できる選手になって、日本代表としてプレーすることを期待しています。」と激励しました。

2/9 目標は「夢を与えられる選手」 日本男子ソフト「ダイワアクト」入団報告



今年4月から佐賀県にある日本男子ソフトボールリーグ「ダイワアクト」に入団が決まった、本市出身の大城賢輝選手(与勝中:与勝高校出身)が、市役所を訪れ入団報告を行いました。大城選手は「体が小さくても、日本のトップリーグでプレーできる姿を見てもらいたい」と決意を語りました。

2/6 人権って「誰か」のことじゃない 第41回全国中学生人権作文コンテスト



作文を通し、人権尊重の重要性、必要性の理解を深め、豊かな人権感覚を身に付けることを目的として毎年開催されている「第41回全国中学生人権作文コンテスト沖縄県大会」において、応募数が秀でた中学校に対し贈られる学校賞感謝状を受賞した与勝第二中学校、与勝中学校、高江洲中学校の生徒会長と教諭が報告のため、市役所を訪れました。

2/10 明るい未来へ希望を込めて 明るい選挙啓発ポスター表彰式



小中高生を対象に開催された「明るい選挙啓発ポスターコンクール」のうるま市優秀賞および沖縄県入選者の表彰式が、市役所で行われました。

市内から応募のあった83作品の中から20作品がうるま市優秀賞に選ばれ、その内4作品が沖縄県の二次審査を経て沖縄県佳作に入選しました。

今年の県全体の応募総数は600作品でした。

2/11 楽しく学び、心を豊かに 第18回うるま市生涯学習フェスティバル

2月11日(土)、12日(日)の両日に第18回生涯学習フェスティバルが、市石川会館にて開催されました。会場では各種団体の展示や体験コーナー、パラスポーツなどが行われ、ホールでは、公民館サークルや子ども教室等による日頃の練習成果を披露する舞台プログラムが行われました。

また、開会式では令和4年度うるま市社会教育優良団体および功労者表彰、市教育委員会表彰(団体および個人)、伊波メンサー織後継者育成事業修了式、子どもの居場所活動支援寄贈式が行われました。



1/26 火災から文化財を守る! 第69回文化財防火デー防火訓練実施



地域にある貴重な文化財に対する防火意識を高めるため、市教育委員会や消防本部、関連団体などによる防火訓練が、伊計島の国指定史跡「仲原遺跡」で実施されました。

1月26日は、法隆寺金堂が炎上し、壁画が焼損した日で、「文化財防火デー」と定められており、毎年、同時期に市内の文化財施設等にて防火訓練を行っています。

1/28 うるま市のすぐりむんが大集結 第18回うるま市産業まつり

うるま市の「市産品」が一堂に会する「第18回うるま市産業まつり」が、イオン具志川店をメインに3会場で開催されました。

イオン具志川店、うるマルシェでは市内で生産・製造された市産品の販売のほか、琉球ドラゴンプロレス、ヒージャーおーらせーなど様々なイベントが催され、会場は大きな盛り上がりとなりました。また、同時開催された「山芋スープ」「うるま市学童クラブ野菜栽培コンクール」の表彰式も行われました。

県工業技術センターでは「働く乗り物展示会」が開催され、多くの子ども達が高所作業車やミニコンボなどを体験し、目を輝かせ楽しんでいました。



山芋スープ

【赤】優勝	やまだ 正さん	260.0kg
大物賞	みさと 朝健さん	27.4kg
【白】優勝	のぼりかわ 晃昇さん	222.1kg
大物賞	のぼりかわ 晃昇さん	22.0kg

うるま市学童クラブ野菜栽培コンクール  
最優秀賞 田場学童クラブ

1/18 手紙に込めた「ありがとう」 『ありがとうの手紙』作文コンクール表彰



児童生徒の優しい気持ちを育むことを目的に開催された「第17回うるま市『ありがとうの手紙』作文コンクール」の表彰式が市民芸術劇場燈ホールで行われ、入賞した31名の児童生徒に対し表彰状が贈られました。

児童生徒たちは、家族や友人、地域の方々、自然動物等に対する日頃の感謝の気持ちをつづりました。